

6月定例議会 町政報告

令和3年第4回小坂町議会が6月17日から23日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等8議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

町政報告要旨

▼町の観光情勢

4月29日から5月5日までのゴールデンウィーク期間中の観光客数は、全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、十和田湖主要宿泊施設の宿泊者数は1,896人で、コロナ禍以前の1・昨年(5,451人)と比べて約65・2%の減となりました。うち、外国人の宿泊者数は38人で、1・昨年(336人)と比べて約88・7%の減です。

また、主要観光施設では、康楽館が888人で、1・昨年(2,160人)と比べて約65・7%の減、小坂鉄道レールパークが841人で、1・昨年(3,622人)と比べて約76・8%の減となりました。また、康楽館においては全国的な新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出により、5月から6月にか

けての北海道を中心とした修学旅行が約70校9,300人のキャンセルがあったことに加え、一般団体の予約もほぼ無いため、6月に実施している修学旅行と6月に実施している修学旅行向けの常打芝居を6月1日から6月30日まで休演したいとの報告を受けています。

7月以降については、夏休みを迎えることやキャンセルとなった北海道からの修学旅行が約50校4,100人の仮予約が入っている状態などから、今後の状況を判断しながら公演実施の可否を検討しているとのこと

です。今年のアカシアまつりについては、新型コロナウイルス感染症の収束に見通しがつかないことから、実施委員会で2年連続の中止を決定しました。大変残念ですが、新型コロナウイルス感染症が収束し、来年は盛大に開催されることを願っています。

このような状況から、今すぐ

に観光客の増加は見込まれませんが、アフターコロナを見据えて観光情報の発信や受入体制の整備には万全を期して7月から始まる秋田県民を対象とした町独自の宿泊助成券発行事業や、5月に観光庁から採択となった縄文人が愛した「縄文ワイン」で繋ぐ「縄文ロマンとワインツーリズム」実証事業などの取り組みにより、十和田湖や明治百年通りへの観光誘致を図っていきます。



縄文ワイン

▼秋田ホーセ(株)小坂工場の閉鎖

秋田ホーセ(株)小坂工場は、昭和60年8月21日に(株)エドウィン小坂ジーンズとして三ツ森工業団地で創業を開始した秋田県の誘致企業です。



秋田ホーセ(株)小坂工場

5月25日に親会社の(株)エドウィンから、新型コロナウイルス感染症の影響により国産ジーンズの需要が見込めないため、8月末で小坂工場を閉鎖したいとの申し出を受けました。操業開始から町の産業振興の一

翼を担い、また、町民の雇用創出への貢献は多大なものだったので大変残念です。5月末現在の小坂工場の社員は44人となっており、このうち、小坂町在住者は18人です。町として緊急雇用対策本部を立ち上げ、ハローワーク鹿角や秋田県と連携しながら再就職等への支援を行っていきたくと考えています。

主な議決事項

- 条例制定
◆ 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 条例の一部改正
◆ 十和田ふるさとセンター条例
- 補正予算
【令和3年度】
◆ 一般会計(第2号)
◆ 国民健康保険特別会計(第1号)
◆ 介護保険特別会計(第1号)